

RKM会報

Vol.12

2015年8月発行

編集・発行：RKM 幹事会事務局：桑水流正邦（くわするまさくに） 〒132-0035 東京都江戸川区平井 4-26-9 渡瀬方
メールアドレス：rkm634@rkm634.jp

平成27年度総会報告

平成27年度RKM総会を6月10日(水)に日本教育会館(一ツ橋)にて開催致しました。新会員89期からは在京大学生2名の参加があり、10代から80代まで幅広い年齢層のOB46名の方々に出席いただき、今年も賑やかな総会になりました。

総会では、冒頭この一年間に亡くなられた4名の会員の方々のご冥福を全員黙祷で祈った後、久我会長の挨拶に続いて、新入会員89期の岡村さん、丸山さんから自己紹介と「OBとなり、RKM会員として現役を支援する立場になったことの決意表明」が行われました。

その後、幹事会より「平成26年度活動実績・会計決算と監査結果」の報告、なかでも、3月26日に行われた国立代々木第二体育館でのイベントとその費用報告、並びに38期斎藤斗志二さんから多額のご寄付を頂いたことを特別報告とさせていただきます。



続いて「平成27年度活動計画・予算案」の提案があり、満場の拍手をもって承認されました。(これらの詳細は、同封の資料をご覧ください。)

決算では、平成26年度も約120万円の剰余金を残すことができ、今年も現役支援金として20万円を贈呈することができました。また、昨年9月のホームカミングデーにおける同窓会からの分配金1万8千円(同窓会口座への振込1万2千円、懇親会出席者負担金6千円)も別枠として贈呈しました。現役支援金贈呈式では、久我会長より前田先生(昨年度から体育科講師)と78期木本さん(今年4月から武蔵高校数学科講師、バスケット部アシスタントコーチ)の二人に目録が手渡され、現役のさらなる技術向上と活躍を託しました。

続いて行われた懇親会の部は、今年度総会出席者の中で最長老の22期芹沢憲一さんによる乾杯の音頭で幕をあげ、グラス片手に賑やかな歓談の輪が広がりました。



途中、約40年ぶりに日本に帰国し総会初参加の37期福永さんから「ニューヨークで18期の三浦先輩にさそわれてNBAを見に行った話」や、48期高原さんから、日本協会監事として携わった「バスケットボール協会の再編の苦労話」などが披露されました。

また、会場展示物の今年の目玉は、3月に行われた代々木体育館イベントの写真で、畳1枚分の大きさに大伸ばしした全員集合写真や、壁一面に貼られた多くのA3サイズのプレー中の写真など、イベントに参加した人はもちろん、残念ながら不参加だった人も、誰が参加したのか、どんな様子だったのかと興味深そうに眺めていました。全員集合写真には、総会参加者のサインもしてもらいましたので、100年史アーカイブの資料として活用する予定です。



なお、今年も募金箱を用意して会場でのご寄付をお願いしたところ、15万1千円のご協力が得られました。

次回総会予定

来年度の総会は、平成28年(2016年)6月上旬を予定しています。詳細は決定次第 RKM ホームページ、メールでお知らせいたしますので、皆様お誘いあわせの上、是非ご出席ください。同期会の会場として、総会を活用していただくことも歓迎です。

賛意をよせられた方々に御礼申し上げます。

最後は、全員で恒例の集合写真を撮影し、今年度の総会をお開きとしました。

会長 挨拶

総会の開催にあたり、この一年間に亡くなられた4名の方々のご冥福をお祈りして、黙とうをささげたいと思います。

(お名前は最終ページに記載させていただいております。)

今回新しく会員になられたのは、89期8名の方々です。RKMの貴重な新戦力として、後程ご紹介しようと思いましたが、この会は後になると騒がしくなって挨拶を聞いておられる方が少なくなってしまうので、始めに本日出席されている岡村優樹さんと丸山広太郎さんから自己紹介をしてもらいます。

さて、この1年間のRKMの活動内容や今後やりたいこと等を各幹事からご報告して皆さまのご理解を頂きたいと思いますが、会長として3点お話しさせていただきます。

1点目は、後程ご報告する、3月に開催した代々木イベントについてです。聖地代々木を借り切ったの半日イベントは大変好評で、次回開催を希望する意見が多く寄せられています。会場の確保、予算、運営準備など関係者の苦労も大変なものです。「もう一度やりたい」だけでなく、「やろう」という意気込みで、これらの難題を解決する側に立って、次回開催実現に力を発揮してくれる若手が現れるのを期待しています。

2点目は、中学生のコーチをしてきている若手OBに対するバックアップです。

我々の中学生時代以前から現在に至るまで、中学生の練習は大学生のOBにコーチとして教えてもらっています。中学コーチを引き受けてくれた方々は大変なご努力ですが、教えら

れた側も特別な思いで先輩を見てきたと思います。

現在の87期高木コーチや、78期木本さん(前コーチで今年4月から武蔵高校の講師になりました)、86期宇野さん達から、畑正木副会長が相談を受けたことから、中学のコーチをもっと応援して、中学生により基礎プレーの習慣をつけさせたいと話が進みました。

そこで、コーチ経験豊富な41期の新津耕一さんに中学の練習に顔を出してもらい、コーチと中学生の役に立ってもらいをお願いし、昨年暮れから、すでに取り組みを始めています。また、29期の川浪茂男さんにも春休みなどに時間を作ってもらって、特別授業をしていただきたいと話を進めています。

目標は、よい基礎をよく練習してレベルを上げた中学生を高校に進んで山崎先生にさらなる指導をお願いすることと、現役や若手OBにRKMのことを身近に感じてもらうこととあります。取り組み始めたばかりで、多々問題も出てくるかと思いますが、工夫してより良いものを目指したいので、ご支援とご意見を願います。

3点目は、今年の正月に38期の齋藤斗志二さんから、学生時代にRKMに係っていたことへの感謝と、現在のRKMを応援するため、30万円のご寄付をいただきました。ありがたく頂戴し、今後活かしていくつもりですが、考えてみると私も斗志二さんと全く同じ思いがありました。この機会に、私も分相応の寄付をして感謝の気持ちを表そうと思います。折よく、例年通り会場に寄付箱がありますので、皆様もよろしく願います。

RKM「国立代々木第二体育館イベント」

(2015年3月26日開催)

47期 桑水流 正邦、48期 福本 淳一、87期 守田 智洋



RKMとして初めての「国立代々木第二体育館イベント」が、2015年3月26日(木)12:00から現役・OB・対戦校・ご家族や保護者の方々など総勢約150名の参加を得て開催されました。

当日は、中学・高校の現役の対外試合をはじめ、OB対中学生、OB対高校生、OB対OB、ならびにフリースローやドリブルなどの技術を競うスキルチャレンジ等々各種のゲームが繰り広げられ、観戦されたご家族を含め大いに盛り上がりました。

現役からは「代々木でバスケットを楽しめ、かつ会う機会が少ない先輩と交流を深めることが出来、貴重な経験だった、来年も是非開催してほしい」との声が多数寄せられ、OBからも継続的な開催に対する強い要望が多いことから、幹事会としては、次回はRKM90周年^{※1}である2017年前後の開催を目指し、まずは2017年3月下旬をターゲットに体育館の確保を図るとともに、早めに若手中心の実行委員会を立ち上げ、準備を進める方針です。

なお、現役の感想を本会報に同封しましたので是非ご覧いただいたうえで、本イベントや現役の感想に対するOBの皆さんのご意見をRKM幹事会あて^{※2}どしどしお寄せ下さい。

※1: 1927(昭和2)年秋に結成された関東高校リーグ(一高、東京、浦和、成城、成蹊、武蔵)に参加した時を武高籠球部の設立としています。この時の結果は10戦10敗とのこと。

※2: ご意見あて先: メール rkm634@rkm634.jp 郵便 〒132-0035 江戸川区平井4-26-9 渡瀬方 桑水流正邦

本イベントについては同窓会会報にも概要を掲載しましたが、

以下に本イベントの取組み経緯や当日の様子について詳しく報告します。

◇イベントのきっかけと準備

約2年前の40期代OBの集まりで、「日本バスケットボールの聖地である代々木(1964年東京オリンピックのバスケットボール会場、全日本選手権等の決勝会場)でプレーしたいな、現役も呼べば彼らの記憶にも残るRKMの行事になるよ」という声が上がったのがきっかけで、幹事会でも前向きに検討を始めました。しかし、肝心の体育館は大きな大会優先であり、周知・準備期間を含め、自分たちの都合が良い時期に確保することが困難でした。

2014年の総会直前に再度体育館に赴き相談したところ、運良く翌年の3月下旬に空きがあるとのことで早速仮予約し、総会でも「現役応援、現役OB交流、OB同士交流、そして聖地でバスケットを楽しむ」を目的として開催することが承認され、87期を中心に実行委員会を立ち上げました。(なお、体育館によると、年度末の平日は比較的空き可能性があるとのこと)

結果として、桜もほころびかけ、学生・現役は休みとなり、多くの社会人も年度替りの節目で時間がとりやすい3月下旬に本イベントを実施できたことはタイミングとしてよかったと思っています。

なお、委員会は2回の打合せとメール・電話での情報交換により、山崎先生との調整、中学・高校の対外試合設定、スキルチャレンジ用器具の準備、体育館との打合せ等を行いました。

た。当日は、設営・片付け、鍵・入退館管理や緊急時の対応も、主催者側で管理することになっており、設営・後片付けに十分な時間をとるため、当初 13 時から予定していた借用開始を 12 時に前倒しました。体育館借用料は、83,020 円 / 9 時間です。

◇当日の状況

【参加者約 150 名】

現役 46 名と相手校 21 名、そして 27 期を筆頭に卒業式を終えたばかりの 89 期までの OB65 名が体育館に足を運んでくれました。OB では釧路や名古屋など遠方からの参加者もあり、また観客席には OB 家族、現役保護者の姿も多数あり熱心に声援を送ってくれました。

【12:00 開場】

12:00 前には実行委員会メンバーの 87、88、89 期の若手 OB18 名が早々と集合し、開門にあわせて設営開始。一方、13:00 から試合のある中学生も体育館前に集合、試合準備を開始。

【12:45 開会】 写真 03

「OB が現役の試合を見るいい機会でもある。ここでプレーしたことがある人も無い人も、コート感触とプレーを楽しんでほしい」との幹事長挨拶で定刻にスタート。

【13:00 中学生対外試合 (対東大付属中)】 写真 04

山崎先生が手配してくれた、都高体連登録の公式審判員・黒川氏(岩倉高教諭)と審判員資格を得たばかりの 78 期・木本さん (4 月より武蔵講師) のホイッスルにより中学生の試合開始。早くから集まった年配 OB も、孫世代のプレーを広々とした客席から観戦しながら、自分達が武蔵に入った頃を懐かしんでいた。(結果 武蔵中 64 対 55 東大付属中)

【14:30 ベテラン OB と中学生との交流試合】 写真 05

最年長の 27 期鹿子木さんも参戦、「この日のためにトレーニングを積んできた」という 40 期代 OB も多数出場し、全員がコートの感触(足に吸いつくフロアやボールの反発など)を感じ、「これが代々木のコートか」と喜びをかみしめながら久々のプレーを楽しんでいた。代々木体育館の借用料を聞いた OB からは「こんなに楽しくて健康的なら毎年やろう」の声も・・・

(結果 ベテラン OB34 対 30 中学)

この時点で一回目の集合写真撮影。

【15:30 高校対外試合 (対都立三鷹高校)】

写真 06、07

公式審判員の桜井氏(都瑞穂農芸OB)と夏原氏(都武蔵村山教諭)のホイッスルで高校生生の試合開始。夕方になり OB の観戦者も増え、目の前で展開される現役のプレースタイルと自分等の現役時代のそれとを比較しながら客席のあちらこちらで

03 開会



06 高校対外試合 (対都立三鷹高校)



09 OB 同士の交流試合



04 中学生対外試合 (対東大付属中)



07 高校対外試合 (対都立三鷹高校)



10 OB 同士の交流試合



05 ベテラン OB と中学生との交流試合



08 若手中堅 OB と高校生との交流試合



11 スタンドからの観戦



話が盛り上がっていた。特に、トラベリングなどのヴァイオレーションの判定やボールを運ぶ技術については熱い議論が展開されていた。(結果 武蔵高 69 対 39 都三鷹高)

【17:00 若手中堅 OB と高校生との交流試合】

写真 08

学生・若手に、気は若い中堅 OB も加わり高校生との試合を楽しんだ。元旦バスケットやホームカミングデイよりも多くの若手が参加したので、白熱したゲームとなった。審判は 41 期新津さんと 49 期石川さん。

(結果 中堅若手 OB40 対 18 高校)

試合後、現役が帰宅する前に全員で記念撮影。

【18:00 OB 同士の交流試合】 写真 09、10

特に 42 年ぶりに 5 人揃った 48 期、4 人揃った 49 期と、45 期を中心とする 60 歳代チームの対戦は、互いに「あの世代には負けたくない」という対抗意識丸出しの好(?)ゲームとなった。さすがに体型は変わったもののプレースタイルは現役時代そのままであるところが印象的であった。後半は「代々木でプレーできる!」と仕事を早めに終えた若手社会人 OB も続々と姿を見せ、入れ替り立ち替りあこがれのコートでのプレーを堪能した。

【19:00 スキルチャレンジ】

交流試合の途中に、NBA を参考にしたスキルチャレンジ(ドリブル、パス、ランニングシュート、スリーポイント、フリースローを組み込んだコースをクリアする時間と得点を競うもの)を実施した。結果は、優勝:82 期脇田和慶さん、二位:78 期木本健一さん、三位:83 期菅原超さん、ブービーメーカー:80 期幾瀬樹さん。

この時間になると多くのベテラン OB はノドを潤す為に三々五々打上げ会場や渋谷駅方面に向かっていった。

【20:30 ~ 21:00 後片付け、閉会】

20:30 にはプレーを切り上げ、若手中堅 OB が後片付け(若手中堅 OB の皆さん、ありがとうございました)。

21:00 には体育館を後にして、隣接したレストラン「Vortex」で打上げ。久しぶりの再会と代々木コートの感想などで改めて大いに盛り上がった。10 時間を超すイベントで、筋肉痛で足を引かずりながら帰る人もいたが、怪我人なく 22:30 に無事終了。以上、当日の状況でした。

最後になりましたが、当日の写真を丁寧に撮って下さった小川智弘氏(スポーツ写真愛好家/27 期鹿子木基員さんご紹介)に感謝申し上げます。48 期福本幹事による写真とあわせ、本会報ではその一部を紹介いたします。

(文責 桑水流正邦)

現役公式戦試合結果と観戦記

高校生の公式戦試合結果

◆関東大会予選

2015 年 4 月 12 日 武蔵高○ 85 - 65 ●都南葛飾高

◇観戦記 (88 期 浦有郷)

第一 Q から武蔵のパスミス、キャッチミスが相次ぎ、序盤はあまり流れに乗れませんでした。相手 #4 の 1 対 1 や速攻に対し、武蔵のファウルも重なり、重苦しい展開でしたが、そんな中でも、武蔵 #4 関口が鋭いドライブやミドルシュートで次々と得点し、キャプテンシーを発揮してくれた点は非常に良かったです。

後半に入ると、武蔵がプレスを継続してきた成果もあり、相手のミスも増え、流れが武蔵に傾きました。武蔵のガード陣のミドルシュートも良く入り、スムーズなパス回しでうまくオーバーロードして相手の 1 - 3 - 1 のゾーンディフェンスを崩せたと思います。

全体的な反省点としては、相手 #4 のドライブを抑えられなかったと思いました。序盤からもっと足を動かして、プレッシャーをかけてミスを誘発したかったと思います。

しかし、主力選手を一部欠くなかで、しっかり勝利を収められたのは立派でした。1、2 年生にも出場機会が与えられたの

も良かったです。出場できた下級生はこれを良い経験にしてもらいたいと思います。二回戦も健闘を祈ります。

2015 年 4 月 26 日 武蔵高● 62 - 82 ○都足立高

◆インターハイ予選

2015 年 5 月 17 日 武蔵高○ 129 - 69 ●都晴海総合

◇観戦記 (89 期 加藤誠之)

第一 Q は、ディフェンスやリバウンドで集中力をかき、思うように点差が開かず歯がゆい立ち上がり。交代で出た二年生佐藤がスティールを頑張り、プレスにかかり始めてから点差がついた。第二 Q もプレスをかけ続け、前半は 63 - 37。大差ではあったが、もっと点差をつけられるという印象だった。

ようやくエンジンがかかったのは第三 Q。関口や近藤を中心にプレスでミスを誘い、速攻や 2 対 1 で得点を重ねる。関口の華麗なレイアップ、近藤のバスカン、2 年生の斎藤の正確な 3P が決まり、3Q だけで 26 点差。ベンチも応援席も大いに沸いた。第四 Q は一年生も多く出場し、学年差に臆さず積極的にカットを狙ったり、思い切りよくシュートを狙いに行き互角に戦った。点差を縮められることなく、129 対 69 と危なげなく快勝。失点が多かったものの全体を通して外も中もバランスよく得点し

ていた。多くの選手が活躍し、見ていて楽しいゲームだった。

2015年5月31日 武蔵高●55 - 61 ○東京学芸大附

◇観戦記 (83期 菅原 超)

重苦しい入りとなった。決して相手の動きも良いとは言えず、全体にたどたどしさがあつたが、学芸大附属はファウルを取られながらも果敢なディフェンスで流れを掴んだ。その点、武蔵は攻めにおいては萎縮しがち、守りにおいても迫力を欠き、着実に点差をつけられてしまった。主将の #4 関口が気を吐き、難しいシュートを随所で決めるも、第一 Q 終了時点で 8 - 21。立ち上がりの緩慢さは例年課題と言われる。今回は最後の試合になりかねないという状況もあつたか、相手の気迫に飲まれてしまった。実力では拮抗ないし優っていると思えただけに、この序盤の展開がとても惜しい。

武蔵は 2 - 3 ゾーンディフェンスを折々で組み、第二 Q 以降いよいよロースコアゲームとなる。相手の得点を止めることに成功したが、こちらの点も入らない。良い形でシュートに結びつく場面もあれば、相手のファウルトラブルによりフリースローもかなりの本数を与えられたのだが、チャンスを掴めなかった。我慢のディフェンスを続け、#5 青沼のスリーポイント、1 年生ながら頼もしい体の強さでリバウンドからの得点を量産する福地の活躍などで一時 4 点差まで詰めたものの、肝心のフリースローが外れる。さらにもうひと頑張りというところでシュートチェックが甘く相手のスリーポイントを許すなどして一進一退。あと少し!! と念じ続けるも、最後は 6 点差で終了した。

ここぞという時に威勢良く張り切って流れを掴み取る、そういったある種のふてぶてしさ、貪欲さといったものが無かったのが非常に勿体無い。中学生のときから、現高 3 は気が優しく、目の前の相手をやっつける、勝つ、といったことにあまり執着が無かったように思う。能力の高い選手ばかりであつただけに、

援する側としてはとても歯がゆい思いであつた。とはいえ、下級生も一丸となってひとつのチームを形づくるのが近年の武蔵だ。その意味では、試合に出る下級生は負けん気も強く勢いを与えてくれる非常に期待できる選手ばかりなので、全体として本当に良いチームだつたと思う。高 3 が 5 人と少ないなかで、本当によく最後まで頑張つた。OB ら応援席も大いに盛り上がった。ぜひ、来週も試合を観たいと思つたが、今年はここまで。高 3 は引退を迎えた。

ひとまずは受験を乗り越えて、また一緒に武蔵を強くしてもらいたい。無念の惜敗であつたが、彼らの静かな闘志や悔しさを一番近くで見つていた後輩が、必ずや雪辱を果たしてくれるだろう。

新チームは 1 年生も含め主力でゲームに出ているメンバーが多数いるので、来シーズンも楽しみである。今後とも応援よろしくお祈りします!

中学生の公式戦試合結果

◆東京都選手権地区予選

2015年6月7日 武蔵中○85 - 30 ●練馬東中

2015年6月14日 武蔵中●46 - 71 ○大泉学園

◇高木コーチの弁:

前半は食らいついて行けてましたが、第 3Q 開始直後に渡辺が 4 ファウル目を犯してベンチに下げてから一気に離されてしまいました。プレッシャーが強い DEF に体力が続かなかつた部分もあります。要所で作ったチャンスを得点に結びつけられなかったことが点差につながってしまいました。全体を通して走り回つていて良いゲームができたと思います。応援ありがとうございました。新チームへの応援もよろしくお祈りします。

同窓会主催ホームカミングデイ (HCD) のお知らせ

日時: 9月12日(土) 14:00 ~ 16:00 頃

高中体育館にて現役との交流バスケを行います。高校生との交流試合に参戦する若手 OB の参加を期待しています。プレーされない方も体育館を覗いてみて下さい。また、15:50 頃から恒例のフリースロー大会を行います。ぜひご参集下さい。

また、同窓会主催の催しは下記のとおりです。

講演会: 14 時 ~ 16 時、高中視聴覚教室

「古建築の研究が社会でどう役立つのか?」

講師: 53 期・後藤治氏

(民文 OB、工学院大学建築学部教授)

合同懇親会: 16 時半 ~ 18 時半、高中図書館棟 1 F

会費: 79 期まで 4 千円、80 期以降 3 千円、
大学・大学院生 2 千円

懇親会費のうち千円は現役援助金として所属部に贈られます。またご欠席の方でご協力下さる方は、所属部を記載のうえ、下記口座宛に振込をお願いします。

郵便振替: 口座番号 00130 - 5 - 7428

加入者名: 武蔵高等学校同窓会

RKM だけでなく、他サークルのお知り合いもお誘いのうえ奮ってご参加下さい。

なお、メールをご利用の方にはメールで、ご利用でない方には往復ハガキで別途お知らせしますが、万が一連絡が届かない場合は幹事団宛にご一報お願いします。

現役活動報告 高校コーチ 体育科教諭・山崎正晴

☆ 生徒援助金の使途 ☆

OB 諸兄にはこの紙面をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。例年と変わらぬご支援に生徒とともに感謝しております。ありがとうございます。

さてその使用についてですが、今回は高校、中学ともにボールとメディシンボール(通常のボールより重いトレーニング用ボール)を購入いたしました。中学が6号球から7号球になって数年たちます。どの年代においても体力、筋力不足は否めません。また練習時間にも限りがありますのでバスケットボールの練習をメディシンボールを使用することによって筋力アップを図っています。

☆ 新チームについて ☆

まず現高校3年生チームのご報告をいたします。ここ数年と同様に今年もBest32に届かずに終わってしまいました。主力選手の大会前2ヶ月にわたる海外留学があり、下級生主体のチーム作りが間に合いませんでした。

さて新チームですが、昨年より身長の高い選手が出てきました。また機動力も出てきました。例年に比べて選手層が厚くなってきたように感じています。現在はチームの中で

競争をさせている状態です。練習ゲームでもベストを決めず5人ずつ交代させトライさせています。その中で昨年からの継続課題であるシュート力と今年の課題である1対1のディフェンス力(責任を持って守れる脚力)を中心に注意しています。

オフェンス・1対0を作る、ディフェンス・1対1+αで守る、をチームとしてどうプレイさせるのか、するのかをこの一年彼らの肌にしり込んでいこうと思っています。無意識にできるように。

末文になりますが拙い指導の中、変わらずご声援ご支援いただき常々感謝しております。是非武蔵体育館或いは試合会場へお越しください。お待ちしております。

☆ 中学生 アシスタントコーチ

数学科講師・78期・木本健一 ☆

中学新チームは87期守田智洋が新コーチとして指導にあっています。体格がよく個人技の得意な選手がいる個性豊かな中2・13名と、珍しくミニバス経験者が複数名おり非常に元気がよい中一・10名で、都大会出場を目標に励んでいます。

新会員89期の紹介 89期 丸山広太郎・89期 斉藤悠一

89期のメンバーは斉藤悠一(キャプテン)、綾部芳秀、阿部翔吾、岡村優樹、利根川直也、丸山広太郎、大下裕太郎、加藤誠之の8名です。我々89期バスケ部は昨年の夏、インターハイ予選4回戦で敗退し現役の部活動を引退しました。今まで実際に指導にあたってくださった山崎先生、津田先生、木本先生と全面的な支援をしてくださったOBの方々に改めて感謝いたします。

我々のチームには、東京都の数々の強豪チームに通用するような、長身の選手や飛びぬけた能力の選手がいませんでした。このような選手層の中で、「能力がない人が勝つための方法」を山崎先生が提案していただき、この考え方を軸に歴代の先輩方が残したような素晴らしい結果に一步でも近づこうと練習をしてきました。ディフェンスは2-2-1のゾーンプレスを主に使い、前線でボールをカットして速攻からの得点を目指し、状況に応じてゾーンディフェンスなども使い分けました。オフェンスはエンド、サイドのスローインからの多種多様なセットプレー使い、パスを回して1対0をつくり、フリーでシュートを打つことを心がけました。最終的な結果は悔しさが残るものとなってしまいましたが、4月の関東大会予選3回戦で負けた相手、筑波大附属高校に、インターハイ予選の3回戦でリベンジを果たしたことで、多少の成長は自分たちでも感じる事が



後列左から：加藤誠之、大下裕太郎、丸山広太郎、利根川直也
前列左から：岡村優樹、阿部翔吾、綾部芳秀、斉藤悠一

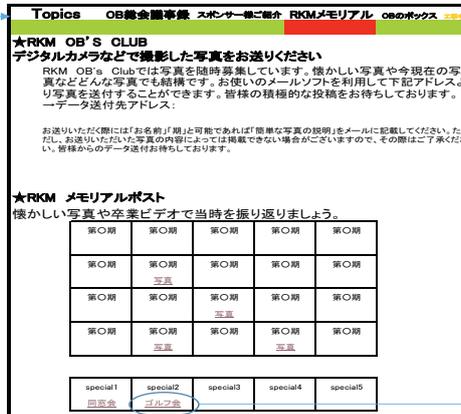
でき、自信につながったように思います。

このような喜ばしい結果が出たことも、部活動を6年間続けられたことも指導にあたって下さった方、そしてOBの方々の力がなければなかったことでしょう。我々89期は引退しましたが、これからは一つでも多くの勝利を目指して努力している後輩たちを支援する側として武蔵高校バスケット部に関わっていけたらと思います。今後は、RKMの一員としての89期一同をよろしく願いいたします。

RKM アーカイブ・プロジェクトより (RKM アーカイブ通信)

◇ RKM のホームページ (HP) について

1. RKM に関する資料・情報を会員の皆さんにより広く容易にご覧いただけるように、かつ会員間のタイムリーな情報交流を目指して、改めて HP を立ち上げます。
2. カテゴリーは以下を考えておりますが、ご希望やアイデアがある方事務局までご連絡ください。
「Topics」・・・総会のご案内、会報発行のお知らせ、会費のお願い、期毎の話題紹介のコーナーです。(例えば、ゴルフ会や新年会などの開催案内やその様子などを自由に掲載するイメージです)
「OB 総会議事録」・・・RKM の総会の記録として還元するコーナーです。
「OB のボックス」・・・現役の試合の観戦 記や自由な情報交換の場のコーナーです。
「RKM メモリアル」・・・「メモリアルポスト」と「メモリアル」のカテゴリーで構成されます。
「RKM OB'S CLUB」・・・過去 / 現在を問わず自由に写真や映像 (動画) を投稿 (できれば解説つきで) できるようなコーナーです。(昔の思い出の写真や最近のゴルフ会の写真等なんでも結構です)
「メモリアルポスト」・・・「RKM OB'S CLUB」に寄せられた写真等を期毎やジャンル別に分類整理して閲覧できるようにしたコーナーです。



◇ 資料提供のお願い

1. RKM 幹事会では RKM 関連の資料を集めています。皆さんがお持ちの資料を提供してください。現役の頃の練習日誌や新聞・雑誌記事、写真などの資料をデジタル化し、アーカイブを構築していきます。お借りした資料は処理が済み次第お返しいたします。「RKM100 年史」の編纂を待たずに整理のできたものから順次 HP に掲載し、会員の皆さんに閲覧していただくことを考えております。
2. 幹事会およびアーカイブ PT としては、2 年後の RKM90 周年までに、「RKM100 年史」の基礎資料のひとつとして「期毎の集合写真」を収集することを目標としています。これについては、「現役時のユニフォーム姿の写真」というのがベストではありますが、撮影時期は問わずまずはメンバー全員が映った映像でも可したいと思います。上記 HP の「RKM メモリアル」あてへの投稿という方法も含めて皆さんのご協力をお願いいたします。

RKM ゴルフ会 開催

2015年5月20日(水)、恒例の RKM ゴルフ会が開催されました。お茶の水 OGI 名を含む、5 組、18 名が、千葉県市原市のブリック&ウッドクラブに集合し、小雨模様の中、元気にスタートしました。午後からは好天にも恵まれ、春のカントリークラブライフを満喫する一日となりました。

優勝は 34 期の川浪猛さん、準優勝は御茶の水 OG の安原さん、3 位は 32 期の印南さん、ベスグロは RKM 関係者の片木さんという結果でした。「紅一点」として参加された安原さんの「レギュラーティー」からプレーしての準優勝 (しかも「ニアピン」のおまけ付き)、片木さんのアウト・インとも 38、トータル 76 でのベスグロ獲得は特筆すべき快挙でした。また、幹事 (36 期 鹿子木さん) の計らいによる東京駅、ゴルフ場間 (品川駅経由) の格安での往復クラブバス運行が、ラウンド中、車中、パーティー、2 次会と非常に濃密かつ和気あいあいとしたコミュニケー



ション機会の提供に大きく寄与したことも申し添えておきます。

表彰式に続き、次回は 2015 年 10 月 28 日 (水)、嵐山カントリークラブで開催されることが発表されました。

(58 期 松本一郎)

編集後記

- ・若い人達が RKM の活動に参加してくれています。助け合い、さらに活発にいきましょう。(47期 桑水流)
- ・44期吉永さんにデザイナーをご紹介いただき、会報のフォーマットの刷新を行いました。(61期 桑田)
- ・今年度より武蔵中高数学科非常勤講師に採用され、バスケット部アシスタントコーチも務めています。協会公認審判員資格も取得しました。(78期 木本)

【物故者】

RKM 会員で、亡くなられた方々をご報告させていただきます。

- 24 期・岡 昌伸さん (おか まさのぶ)
H26 年 9 月 8 日
- 29 期・青山 好宏さん (あおやま よしひろ)
H26 年 7 月 8 日
- 34 期・東 定彦さん (あずま さだひこ)
H26 年 10 月 13 日
- 53 期・西岡 雄一さん (にしおか ゆういち)
H27 年 5 月 25 日